

## 2026 (R8) 年度 豊岡小学校学校経営方針 (案)

## 学校教育目標

## 在りたい自分を創る主人公

学校教育 目標	在りたい自分を創る主人公		
資質能力	考える力・自律する力・つながる力 (やりぬく力) (自制心) (協働性)		
目指す児童像	○自己決定 (コントロール) と振り返る (モニタリング) 経験を重ね、在りたい自分を自分に問いながら、自分で育てていく子ども		
	○やり抜く力 (主体性・自己肯定感)、自制心 (自己コントロール)、協働性 (コミュニケーション能力) を高める子ども⇒「在りたい自分」を支える生きる力		
	<b>自ら考えをつくる</b> <b>「あたまの力」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究的な学び方を習得</li> <li>・考えを形成するための思考法と論じ方の活用</li> <li>・相手意識と表現力の向上</li> </ul>	<b>他者とつながる</b> <b>「こころの力」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分も大切、他者も大切」</li> <li>・コミュニケーション力向上 (他者理解と自己への気づき)</li> <li>・体験活動による自己有用感</li> </ul>	<b>心身の健康を自分でつくる</b> <b>「からだの力」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい生活習慣確立</li> <li>・自己の心身への気づき</li> <li>・SOSを出せる (他者援助)</li> </ul>
目指す学校像	○全ての教育活動で子どもを大切に (考えを創らせる、選択させる、決定させる)、「在りたい自分づくり」を応援する学校		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもにとって「安心して学び、楽しく過ごせ、大切にされている」学校</li> <li>・保護者にとって「安心して通わせ、相談できる」学校</li> <li>・教職員にとって「同僚と学び合え、働きがいのある」学校</li> <li>・地域住民にとって「行ってみたい、応援したい、参加したい」学校</li> </ul>		
目指す教師像	○子ども一人一人のよき伴走者、理解者 (話を聴く・肯定的関与・自己決定を促す) ○子どもに信頼される教師 (子ども一人一人との関係性を向上させる教師)		
指導の重点	<input type="checkbox"/> 「わからない。教えて。」と <b>言える授業づくり学級づくり、関係性づくり</b> <input type="checkbox"/> 探究的な学びを全教科で <input type="checkbox"/> 思考法・論じ方を子どもが活用できる授業づくり <input type="checkbox"/> 学びに向かう力の育成	<input type="checkbox"/> 教師による肯定的な関与 <input type="checkbox"/> 「聴く」スキルの向上 <input type="checkbox"/> 他者理解を通して、他者と自己を尊重する力の育成 <input type="checkbox"/> <b>自己内対話を通して自己への気づきと在りたい自分に向き合う力の育成</b>	<input type="checkbox"/> 子どもが自己の心身の状態や生活習慣に気づき、改善へ導く指導 <input type="checkbox"/> 一人一人の子どもの心身の状態の把握 <input type="checkbox"/> 適切に他者の援助を受けながら自立を促す

～「聴く」ことを中心に、在りたい自分を描き、創る子に育てる～

### 1 子どもの事実に学び、子どもの内面を「聴く」～引き出し、導く教育～

- (1) 子どもをつぶさに観る、子どもの想いを聴く、子どもの内面を深く想像する教育活動。
- (2) 子どもの自己決定を促し、結果よりも「過程（プロセス）」を見とり意味づける。
- (3) 「授業で子どもを大切にする」（①授業時間を守る②授業中子どもが活動する、表現することが保証される③わからないと表出できる）というイメージを共有する。
- (4) 常に「子どもは今、何を獲得しようとしているか」という視点を大切に、教師の関与の質と量をコントロールしながら、非認知能力が発揮できる教育活動に取り組む。
- (5) 子どもの言動を、ほめる、認める、ともに喜ぶことで、在りたい自分への気づきを促す。

### 2 授業で子どもを大切に、授業づくりを通して、子どもと子ども、子どもと教師の関係性の向上を図る（授業づくりと学級づくりの一体化）

【学習指導】～在りたい自分を伸ばす「学びが成立する」授業づくり～

- (1) 一人一人の子どもの学習状況の把握と具体的手立て、協働的な学びの目的と手段の明確化
- (2) 「分からない。教えて。」と言える授業づくり学級づくり
- (3) 思考法や論じ方の効果的活用、理解したら必ず表現させる学びの継続
- (4) 授業で育む自己選択・自己決定・自己内対話の力（＝主体的・対話的で深い学び）

【学級経営】～共感的理解と支持的風土のある学級づくり～

- (1) どの子も授業に参加し、安心して学べる（バカにされない、わからないと言える）学級づくり
- (2) 特別な支援を要する児童に必要な支援が行われ、どの子もそれぞれの学びがある授業
- (3) やり抜く力、自制心、協働性など非認知能力が向上する集団での活動の促進
- (4) 子どもが、担任や学年団、その他の教職員に相談しやすい人間関係づくり

### 3 チームで子どもを育てる（子どもの見方を重ね合わせ、同僚性を高める）

- (1) 教職員一人一人の持ち味、専門性、強みを活かした組織運営
- (2) 子どもを見方を重ね合わせ、同僚と学び合う教職員集団
- (3) 発達支持的生徒指導（全児童対象・教師の肯定的支援）の充実に向けた生徒指導の展開

### 4 家庭・地域との連携を図る

- (1) 子どものよき理解者、支援者としての保護者との連携、情報共有
- (2) 子どもの自律に向けた学習習慣と生活習慣の向上
- (3) 地域ぐるみで「地域とともにある学校づくり」を進める学校運営協議会の運営

### 5 ワーク・ライフ・バランスを大切に持続可能な働き方改革を進める職場環境づくり

- (1) 定時退勤日の確実な実施
- (2) 学校評価に基づく業務改善の推進
- (3) 年休等各種休暇が取得しやすい職場環境づくり

実践  
に  
お  
け  
る  
理  
念